

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 28 年 5 月 19 日 (2016.5.19)

【公表番号】特表 2015-531571 (P2015-531571A)
 【公表日】平成 27 年 11 月 2 日 (2015.11.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-067
 【出願番号】特願 2015-534829 (P2015-534829)
 【国際特許分類】

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 3 月 17 日 (2016.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワイヤレス通信の方法であって、
 マルチクラスタ送信のための相互変調歪み積のスペクトル位置を判断することと、
 対応するスペクトル領域に前記スペクトル位置をマッピングすることと、
 前記対応するスペクトル領域に少なくとも部分的に基づいて、前記マルチクラスタ送信
 の最大電力低減値と、前記マルチクラスタ送信が、所定のリソースブロック比閾値に少な
 くとも部分的に基づいて、均衡な数のリソースブロックを含むかどうかとを判断すること
 と、前記最大電力低減値はさらに、
前記マルチクラスタ送信が、前記均衡な数のリソースブロックを含む場合、領域イン
 デックスの第 1 のマッピング、または、
前記マルチクラスタ送信が、不均衡な数のリソースブロックを含む場合、領域インデ
 ックスの第 2 のマッピング
から判断される、
指定されたサービス品質 (QoS) および送信電力制限を維持するために前記判断され
た最大電力低減値をユーザ機器でのアップリンク送信に適用することと

を備える、方法。

【請求項 2】

前記マッピングすることはさらに、各相互変調歪み積の少なくとも 1 つのギャップおよ
 び帯域幅の前記スペクトル位置をマッピングすることを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記スペクトル位置の境界を判断すること
 をさらに備え、
 前記マッピングすることは、前記スペクトル位置の前記境界に少なくとも部分的に基づ
 く、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記マッピングすることはさらに、周波数およびリソースブロックをマッピングするこ
 とを備える、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記マルチクラスタ送信のために、3 次相互変調歪み積または 5 次相互変調歪み積のう

ちの少なくとも1つに対応する前記スペクトル領域の組み合わせを判断することと、
前記組み合わせに基づいて、前記最大電力低減値を判断することと
をさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記マルチクラスタ送信に関連付けられたリソースブロックの数に少なくとも部分的に基づいて、前記スペクトル領域を定義することをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

ワイヤレス通信のための装置であって、
メモリと、
前記メモリに結合された少なくとも1つのプロセッサと
を備え、
前記少なくとも1つのプロセッサは、
マルチクラスタ送信のための相互変調歪み積のスペクトル位置を判断し、
対応するスペクトル領域に前記スペクトル位置をマッピングし、
前記対応するスペクトル領域に少なくとも部分的に基づいて、前記マルチクラスタ送信の最大電力低減値と、前記マルチクラスタ送信が、所定のリソースブロック比閾値に少なくとも部分的に基づいて、均衡な数のリソースブロックを含むかどうかを判断し、前記最大電力低減値はさらに、
前記マルチクラスタ送信が、前記均衡な数のリソースブロックを含む場合、領域インデックスの第1のマッピング、または、
前記マルチクラスタ送信が、不均衡な数のリソースブロックを含む場合、領域インデックスの第2のマッピング
から判断される、
指定されたサービス品質（QoS）および送信電力制限を維持するために前記判断された最大電力低減値をユーザ機器でのアップリンク送信に適用するように構成される、装置
。

【請求項8】

前記少なくとも1つのプロセッサはさらに、各相互変調歪み積の少なくとも1つのギャップおよび帯域幅の前記スペクトル位置をマッピングするように構成される、請求項7に記載の装置。

【請求項9】

前記少なくとも1つのプロセッサはさらに、
前記スペクトル位置の境界を判断し、
前記スペクトル位置の前記境界に少なくとも部分的に基づいて、前記対応するスペクトル領域に前記スペクトル位置をマッピングする
ように構成される、請求項7に記載の装置。

【請求項10】

前記少なくとも1つのプロセッサはさらに、周波数およびリソースブロックをマッピングするように構成される、請求項9に記載の装置。

【請求項11】

前記少なくとも1つのプロセッサはさらに、
前記マルチクラスタ送信のために、3次相互変調歪み積または5次相互変調歪み積のうちの少なくとも1つに対応する前記スペクトル領域の組み合わせを判断し、
前記組み合わせに基づいて、前記最大電力低減値を判断する
ように構成される、請求項7に記載の装置。

【請求項12】

前記少なくとも1つのプロセッサは、前記マルチクラスタ送信に関連付けられたリソースブロックの数に少なくとも部分的に基づいて、前記スペクトル領域を定義する、請求項7に記載の装置。

【請求項13】

ワイヤレス通信のために動作可能な装置であって、
マルチクラスタ送信のための相互変調歪み積のスペクトル位置を判断するための手段と

、

対応するスペクトル領域に前記スペクトル位置をマッピングするための手段と、

前記対応するスペクトル領域に少なくとも部分的に基づいて、前記マルチクラスタ送信の最大電力低減値と、前記マルチクラスタ送信が、所定のリソースブロック比閾値に少なくとも部分的に基づいて、均衡な数のリソースブロックを含むかどうかとを判断するための手段と、前記最大電力低減値はさらに、

前記マルチクラスタ送信が、前記均衡な数のリソースブロックを含む場合、領域インデックスの第1のマッピング、または、

前記マルチクラスタ送信が、不均衡な数のリソースブロックを含む場合、領域インデックスの第2のマッピング

から判断される、

指定されたサービス品質（QoS）および送信電力制限を維持するために前記判断された最大電力低減値をユーザ機器でのアップリンク送信に適用するための手段と

を備える、装置。

【請求項14】

前記スペクトル位置の境界を判断するための手段と、

前記スペクトル位置の前記境界に少なくとも部分的に基づいて、前記対応するスペクトル領域に前記スペクトル位置をマッピングするための手段と

をさらに備える、請求項13に記載の装置。

【請求項15】

前記マルチクラスタ送信のために、3次相互変調歪み積または5次相互変調歪み積のうちの少なくとも1つに対応する前記スペクトル領域の組み合わせを判断するための手段と

、

前記組み合わせに基づいて、前記最大電力低減値を判断するための手段と

をさらに備える、請求項13に記載の装置。

【請求項16】

ワイヤレス通信のために動作可能なコンピュータプログラム製品であって、前記コンピュータプログラム製品は、

記憶されたプログラムコードを有し、コンピュータ内に存在する命令によって実行可能である非一時的コンピュータ可読媒体

を備え、

前記プログラムコードは、

マルチクラスタ送信のための相互変調歪み積のスペクトル位置を判断するためのプログラムコードと、

対応するスペクトル領域に前記スペクトル位置をマッピングするためのプログラムコードと、

前記対応するスペクトル領域に少なくとも部分的に基づいて、前記マルチクラスタ送信の最大電力低減値と、前記マルチクラスタ送信が、所定のリソースブロック比閾値に少なくとも部分的に基づいて、均衡な数のリソースブロックを含むかどうかとを判断するためのプログラムコードと、前記最大電力低減値はさらに、

前記マルチクラスタ送信が、前記均衡な数のリソースブロックを含む場合、領域インデックスの第1のマッピング、または、

前記マルチクラスタ送信が、不均衡な数のリソースブロックを含む場合、領域インデックスの第2のマッピング

から判断される、

指定されたサービス品質（QoS）および送信電力制限を維持するために前記判断された最大電力低減値をユーザ機器でのアップリンク送信に適用するためのプログラムコードと

を備える、コンピュータプログラム製品。

【請求項 17】

前記プログラムコードはさらに、

前記スペクトル位置の境界を判断するためのプログラムコードと、

前記スペクトル位置の前記境界に少なくとも部分的に基づいて、前記対応するスペクトル領域に前記スペクトル位置をマッピングするためのプログラムコードと

を備える、請求項 16 に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項 18】

前記プログラムコードはさらに、

前記マルチクスタ送信のために、3 次相互変調歪み積または 5 次相互変調歪み積のうちの少なくとも 1 つに対応する前記スペクトル領域の組み合わせを判断するためのプログラムコードと

前記組み合わせに基づいて、前記最大電力低減値を判断するためのプログラムコードとを備える、請求項 16 に記載のコンピュータプログラム製品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0072

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0072】

[0093] 本開示の先の説明は、当業者が本開示を実行または使用することを可能にするために提供される。本開示に対する様々な変更は、当業者には容易に明らかであり、本明細書で定義される包括的な原理は、本開示の精神または範囲から逸脱することなく他の変形例に適用されうる。このように、本開示は、本明細書で説明された例および設計に限定されることは意図しておらず、本明細書に開示された原理および新規な特徴と一致する最も広い範囲が与えられるべきである。

以下に本願の出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[C1]

ワイヤレス通信の方法であって、

マルチクスタ送信のための相互変調歪み積のスペクトル位置を判断することと、

対応するスペクトル領域に前記スペクトル位置をマッピングすることと、

前記対応するスペクトル領域に少なくとも部分的に基づいて、前記マルチクスタ送信の最大電力低減値を判断することと

を備える、方法。

[C2]

前記マッピングすることはさらに、各相互変調歪み積の少なくとも 1 つのギャップおよび帯域幅の前記スペクトル位置をマッピングすることを備える、C1 に記載の方法。

[C3]

前記スペクトル位置の境界を判断すること

をさらに備え、

前記マッピングすることは、前記スペクトル位置の前記境界に少なくとも部分的に基づいて、C1 に記載の方法。

[C4]

前記マッピングすることはさらに、周波数およびリソースブロックをマッピングすることを備える、C3 に記載の方法。

[C5]

前記マルチクスタ送信のために、3 次相互変調歪み積または 5 次相互変調歪み積のうちの少なくとも 1 つに対応する前記スペクトル領域の組み合わせを判断することと、

前記組み合わせに基づいて、前記最大電力低減値を判断することと

をさらに備える、C1 に記載の方法。

[C 6]

前記マルチクラスタ送信が、所定のリソースブロック比閾値に基づいて、均衡な数のリソースブロックを含むかどうかを判断することと、

前記マルチクラスタ送信が、前記均衡な数のリソースブロックを含む場合、領域インデックスの第1のマッピングを使用して前記最大電力低減値を判断することと、

前記マルチクラスタ送信が、不均衡な数のリソースブロックを含む場合、領域インデックスの第2のマッピングを使用して前記最大電力低減値を判断することと

をさらに備える、C 1に記載の方法。

[C 7]

前記マルチクラスタ送信に関連付けられたリソースブロックの数に少なくとも部分的に基づいて、前記スペクトル領域を定義することをさらに備える、C 1に記載の方法。

[C 8]

ワイヤレス通信のための装置であって、

メモリと、

前記メモリに結合された少なくとも1つのプロセッサとを備え、

前記少なくとも1つのプロセッサは、

マルチクラスタ送信のための相互変調歪み積のスペクトル位置を判断し、

対応するスペクトル領域に前記スペクトル位置をマッピングし、

前記対応するスペクトル領域に少なくとも部分的に基づいて、前記マルチクラスタ送信の最大電力低減値を判断する

ように構成される、装置。

[C 9]

前記少なくとも1つのプロセッサはさらに、各相互変調歪み積の少なくとも1つのギャップおよび帯域幅の前記スペクトル位置をマッピングするように構成される、C 8に記載の装置。

[C 10]

前記少なくとも1つのプロセッサはさらに、

前記スペクトル位置の境界を判断し、

前記スペクトル位置の前記境界に少なくとも部分的に基づいて、前記対応するスペクトル領域に前記スペクトル位置をマッピングする

ように構成される、C 8に記載の装置。

[C 11]

前記少なくとも1つのプロセッサはさらに、周波数およびリソースブロックをマッピングするように構成される、C 10に記載の装置。

[C 12]

前記少なくとも1つのプロセッサはさらに、

前記マルチクラスタ送信のために、3次相互変調歪み積または5次相互変調歪み積のうちの少なくとも1つに対応する前記スペクトル領域の組み合わせを判断し、

前記組み合わせに基づいて、前記最大電力低減値を判断する

ように構成される、C 8に記載の装置。

[C 13]

前記少なくとも1つのプロセッサはさらに、

前記マルチクラスタ送信が、所定のリソースブロック比閾値に基づいて、均衡な数のリソースブロックを含むかどうかを判断し、

前記マルチクラスタ送信が、前記均衡な数のリソースブロックを含む場合、領域インデックスの第1のマッピングを使用して前記最大電力低減値を判断し、

前記マルチクラスタ送信が、不均衡な数のリソースブロックを含む場合、領域インデックスの第2のマッピングを使用して前記最大電力低減値を判断する

ように構成される、C 8に記載の装置。

[C 1 4]

前記少なくとも1つのプロセッサは、前記マルチクラスタ送信に関連付けられたリソースブロックの数に少なくとも部分的に基づいて、前記スペクトル領域を定義する、C 8に記載の装置。

[C 1 5]

ワイヤレス通信のために動作可能な装置であって、
マルチクラスタ送信のための相互変調歪み積のスペクトル位置を判断するための手段と、
対応するスペクトル領域に前記スペクトル位置をマッピングするための手段と、
前記対応するスペクトル領域に少なくとも部分的に基づいて、前記マルチクラスタ送信の最大電力低減値を判断するための手段と
を備える、装置。

[C 1 6]

前記スペクトル位置の境界を判断するための手段と、
前記スペクトル位置の前記境界に少なくとも部分的に基づいて、前記対応するスペクトル領域に前記スペクトル位置をマッピングするための手段と
をさらに備える、C 1 5に記載の装置。

[C 1 7]

前記マルチクラスタ送信のために、3次相互変調歪み積または5次相互変調歪み積のうちの少なくとも1つに対応する前記スペクトル領域の組み合わせを判断するための手段と、
前記組み合わせに基づいて、前記最大電力低減値を判断するための手段と
をさらに備える、C 1 5に記載の装置。

[C 1 8]

ワイヤレス通信のために動作可能なコンピュータプログラム製品であって、前記コンピュータプログラム製品は、
記憶されたプログラムコードを有する非一時的コンピュータ可読媒体
を備え、
前記プログラムコードは、
マルチクラスタ送信のための相互変調歪み積のスペクトル位置を判断するためのプログラムコードと、
対応するスペクトル領域に前記スペクトル位置をマッピングするためのプログラムコードと、
前記対応するスペクトル領域に少なくとも部分的に基づいて、前記マルチクラスタ送信の最大電力低減値を判断するためのプログラムコードと
を備える、コンピュータプログラム製品。

[C 1 9]

前記プログラムコードはさらに、
前記スペクトル位置の境界を判断するためのプログラムコードと、
前記スペクトル位置の前記境界に少なくとも部分的に基づいて、前記対応するスペクトル領域に前記スペクトル位置をマッピングするためのプログラムコードと
を備える、C 1 8に記載のコンピュータプログラム製品。

[C 2 0]

前記プログラムコードはさらに、
前記マルチクラスタ送信のために、3次相互変調歪み積または5次相互変調歪み積のうちの少なくとも1つに対応する前記スペクトル領域の組み合わせを判断するためのプログラムコードと
前記組み合わせに基づいて、前記最大電力低減値を判断するためのプログラムコードと
を備える、C 1 8に記載のコンピュータプログラム製品。